

食品安全委員会放射性物質の食品健康影響評価に関する ワーキンググループ（第2回）の結果概要

日 時：平成23年4月28日（木）16:00～18:30

場 所：食品安全委員会中会議室

議事概要

（1）放射性物質の食品健康影響評価について

- ・「原子炉の使用済燃料中に含まれる核種」について岩崎専門参考人から、福島事故ではプルトニウムはほとんど出ていないと考えられること等が説明された。次いで、「放射線防護の体系」について佐々木専門参考人から、100 mSv 以下での線量と健康影響の関係については国際的にも様々な議論があること等が説明された。
- ・放射性物質の評価のとりまとめの構成について合意された。また、効率的に審議を進める観点から、専門委員等が主に担当する分野を α 核種と β 核種に振り分けて、作業を併行して進めることが合意された。 α 核種は佐藤座長代理が、 β 核種は山添座長がとりまとめ役として決定され、その他の各専門委員等がどちらを担当するのかについては座長に一任された。

（2）その他

- ・ α 核種を中心とした審議は5月12日（木）16時から、 β 核種を中心とした審議は5月25日（水）10時から、それぞれ開催する予定。